

あだたら

発行所 新井町の会
市山部
本松山部
のあだたら編集

三月十九日(日)

三月山行・冬山パトロール

報告 編集部



11時35分、山頂到着、他の登山者がシャッター押してくれた

十九日(日)今年二回目の安達太良山冬山パトロールを実施した。一月十九日は降雪が極端に少なく、夏道が露出する程。二月は参加者が居らず中止、そこで

●編集部連絡先
二本松市茶園1-16033
0243(23)4425
佐藤 延子

今回が今年初めての雪山パトロールとなった。参加者六名は、リフト二本を乗り継いで、五葉松平登山口へ。そこからはスノーシューを履いて途中の立木や道標用篠竹へ「道標目印テープ」を付けたり取替えたりしながら山頂を目指した。十一時三十五分、山頂へ到着。三連休中日とはいえ団体が多いため、他に一般登山者も多く、冬山ゴンドラ運行時代を思い出させる混雑。今回はくろがね小屋方面へ下山した。今年は積雪が多く、峰の辻下、碎石坂・親子岩は全部雪の下、小屋



仙女平分岐下、登山者が一杯降りて来た

への下りも水道小屋の一寸下から直道が出来ている。小屋入口の雪階段、一番下の段と小屋ガラス戸と一メートル半程しか開いていない、小屋の周辺も例年より雪が多い。十二時二十五分小屋着、昼食。小屋の管理人さんと少し話、今年は今頃になって降雪が多く大変だという。夕べも満室今晩も満室らしい。奥岳には十五時二十分に無事帰着。パトロール室で立ち話、例年より登山客が多いという。早朝パトロール室の係員が奥岳に着く頃、駐車場には既に三十台〜四十台の車があるという。ここからからも、山頂の混雑、まるでゴンドラ動いて居るみたいだとの話をした。今回で今シーズンの冬山パトロールは終了となる。

個人山行写真

西大願グラウンデコ、記事は二頁目



親子岩上で ピンクテープ付け作業中



15時20分、奥岳登山口に無事下山

個人山行 三月二十日(月)

西大嶺・グランデコ

報告 西東寛樹



三月二十日(月)に、あだたら山の会のメンバー(菅野英・西東・竹部)と福島の中登会のメンバー計四人で西大嶺の登山とグランデコスキー場でのスキーとまたまた盛り沢山なツアーに行ってきました。道の駅土湯に朝六時半に集合し菅野リーダーのミニバンに乗り合わせて出発。グランデコスキー場には、予定よりも早く到着し竹部さんが用意した夜明けのモーニングコーヒードラでゴンドラが動く時間までコーヒードラを購入し、八時過ぎの便でいざ出発。ゴンドラとリフトを乗り継ぎ、九時頃登山開始。西大嶺山頂へは十時前に到着しました。晴天にも恵まれ、磐梯山と見事な樹氷が見られました。山頂付近は多少風がありましたが、それ以外は風もなく穏やかな山でした。山頂では、山スキーならぬ山ボードの方数名に出会い、最新の山アイテムには感動しました。降りる途中見晴らしの良い場所までコーヒードラ。至福の時間でした。十二時頃には下山して降りて、昼食休憩。私が準備した讃岐うどんを食べようとした所、バーナーコンロを忘れたことに気づき断念。次回からは出発前にきちんと持ち物チェックをしないと、と思いました。施設利用券で昼食を準備し、昼食後はスキー。天気が良く多少雪が重いものが、菅野スキー学校校長の指導により楽しい時間を過ごすことができました。帰りは、割引券があったので裏磐梯レイクリゾートホテル(旧猫魔ホテル)の温泉につかり、帰路につきました。(編集部からお願ひ、写真はお出るだけ逆光を避けて下さい、表情が見えると嬉しです)

三月二十四日(金)

個人山行、川内・五社山

報告 菅野善雄



昨年秋に広野五社山に登り、今回川内五社山に行く事が出来た。二本松八時出発。二八八〇三九九国道に入り、川内村へ。私の地図の読み違いで登山口は見当たらず右往左往。地元の人々の助けを受け、登山口へ。登山口には、五社山の由来看板と五社山・五社八幡神社参道入口の大きな看板がある。参道を入ると大きな鳥居を潜り小沢の整備された参道を登る。途中大きな岩の上に祠があり、ジグザグの登りになり、尾根に取り付く。八幡神社の建物が見えたら山頂である。神社の右手の右手の巨石の間ロープに掴まりよじ登ると山頂である。巨石の上に四箇所土台と思われるコンクリート有り、以前何かの建物があつたようだ。三六〇度のパノラマを満喫、ロープに掴まり無事下山することができた。近くの「かわうち温泉」で冷えた体を温めた。楽しい里山だった。

個人山行・三月二十六日(日)

安積山(額取山)滝登山口

報告 菅野善雄



今日の天気予報、午後より下り坂。ジャガイモ作り、苗の土取も終り、昨年見ることができなかった安積山からの稜線の雪底を期待し、安積山へ。八時半出発、林道に車一台、何人か登っているみたい。奥の駐車場まで車を上げたが、二、三カ所吹き溜まりがあり、車の腹が触る所あり、駐車場には車は無かった。いつものコースの、熱海コース合流点、昨年は所々土が出ていたが、今年は雪が多く何回かスリップしての登り。山頂まで〇・七キロ地点で、ピッケルで深さを測ってみたが一メートル以上はあるみたいだ。山頂近くは小さな木は雪の中、山頂は雪が飛ばされ岩が出ている。期待通り安積山からの稜線の雪底を見る事が出来、念願を叶える事が出来た。岩場の影で一人で昼食をしてしていると、男性一人が登ってきた。一緒に食事をして、下山も一緒。郡山の山岳会に入会し、十年からの登山歴があるみたい。毎月例会の山行、年に一度の一泊登山、今年は岩木山予定。昨年は立山だった。雨で中止になったなど。あつという間に下山。駐車場に着くと雨がポツポツ落ちてきた。一人で下山したら、雨に会っていたかも。